



まなび
P

こころ
P

It's a small world. 国際理解ってなんだろう

♪ It's a small world. (イツ ア スモール ワールド) という歌があります。ディズニーランドでも馴染みの「世界はせまい 世界は同じ 世界はまるい ただ一つ」です。

この歌詞から何を思いますか。

今週 20 日 (火)、茨城県の国際理解教育講師等派遣事業 (ワールドキャラバン) を活用し、3名の講師をお迎えしました。対象は6年生です。

アメリカ出身の☆☆先生は、アメリカの国旗に描かれた星やストライプの意味、食文化について教えてくださいました。本物のお札の登場に、子供たちは「かっこいい!」「日本のお札と似てるところと違うところがあるね。」と興味深々でした。

イギリス出身の☆☆先生は、イギリスは英語で UK といい、4つの国から成っていること、イギリスではフライドポテトのことをチップスと言うことを教えてくださいました。言い方は同じでも表すものが異なる場合もあることを知った子供たちは、「チップスって、ポテトチップスじゃないの?」「じゃあ、ポテトチップスは英語で何て言うの?」と、次々と新たな疑問を感じていました。

そして、ニカラグア出身の☆☆さんが話してくれたこと・見せてくれたものは、子供たちにとって初めてのことばかりでした。「そもそもニカラグアって、どこにあるの?」からスタートです。中央アメリカの国で、公用語はスペイン語です。民族衣装を着てラテンダンスを踊ったり、スペイン語で数を数えたり、マタテナという手遊びをしたり、体験的にニカラグア文化を学ぶことができました。



国際理解の第一歩は、互いを知ろうとすること、そして互いを理解しようとすることです。3名の講師の方々も、なぜこのような国際交流を通して、日本の子供たちに自分の力を注ごうとしているのでしょうか。相手を理解しようとするれば、わかることがあります。

♪ It's a small world.には、次のような歌詞もあります。

「みんな輪になり手をつなごう 小さな世界」

「みんなそれぞれ助け合う 小さな世界」

「小さな世界」の「小さな」が意味するものは何でしょうか。

外国の方を招いて交流活動をしたのは、開校以来初めてのことで、今回の体験が、「アメリカの人イギリスの人ニカラグアの人自分たちも、みんな地球に住む人」という感覚をもち、世界のことを「もっと知りたい」、自分たちのことを「もっと伝えたい」という、次につながるきっかけになることを願っています。

まなび
P

こころ
P

主体的に動く



9月のある日。「これからお昼の放送を始めます。」12時30分、給食前に放送委員の声が校内に響きました。

校長室隣にある放送室にスタンバイするのは、放送委員、給食委員、保健委員の5・6年生。自分で考えた原稿を何度も読んだり、読みながら推敲したり…。全児童に伝わるようにするにはどうすればよいかを一生懸命考えていました。そして、放送し終わった後は、自主的に反省会。その立派な姿に感心させられました。



今、子供たちに求められているのは、主体的に考え、動くこと。見通しをもって粘り強く取り組み、自己の活動を振り返って次につなげること。まさに、その姿でした。南小の子供たち389人は、一人一人様々な成長をしています。互いの成長を認め、励まし合える関係づくりをしていきたいです。

からだ
P

新型コロナウイルス関連情報 (小美玉市ガイドラインより)

- 陽性となった場合
 - 出席停止
 - ・有症状：原則発症日から7日間
 - ・無症状：原則検体採取日から7日間
 - 濃厚接触者となった場合
 - 出席停止
 - ・原則最終接触日後5日間
 - ※発症日/検体採取日/最終接触日は、0日としてカウントする
 - 風邪症状等がある場合
 - 出席停止 (高熱や呼吸器症状が続く場合は医療機関を受診)
 - ワクチン接種を受ける場合
 - 出席停止
 - ワクチンによる副反応が出た場合
 - 出席停止
- ※不明な点は学校へお問い合わせください。